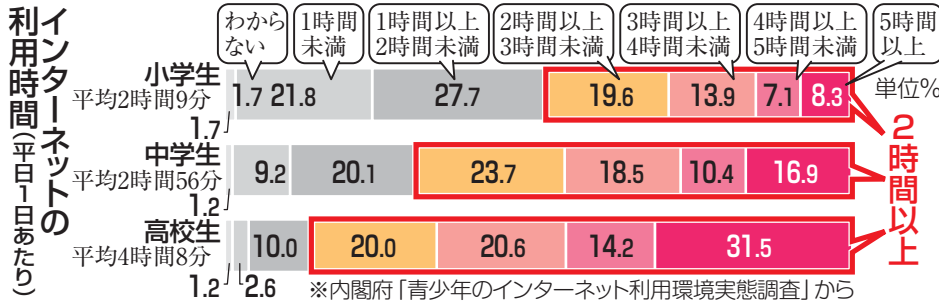


スマートフォンなどの普及で、皆さんもインターネットに触れる機会が多いのでは。オンラインゲームや動画、学校の調べ学習で利用した経験もあると思います。便利で楽しい反面、依存症という病気になるったり、犯罪に巻き込まれたりする危険性も指摘され、使うルールづくりに取り組み動きもあります。皆さんはルールを決めていますか。



くらしの中から考える

ネット利用のルール



「ゲームのヒット作を手掛ける「エイチーム」(名古屋市の林高生社長)の「写真」の中学時代、ネット

良さと危険性知り 付き合う力つけて

「ダークサマー」などスマホゲームのヒット作を手掛ける「エイチーム」(名古屋市の林高生社長)の「写真」の中学時代、ネット

「まだなく、放課後に友達とつながる手段は自宅の電話。」親に怒られながら長電話した。精神的な独立の始まりで、今はそれがスマホやネット」と話す。

「趣味や嗜好が同じ人と学校という狭いコミュニティを超えて出合える」こと。ただ、居心地が良い反面、気の合

「思春期にスマホで友達とつながりたい気持ちは分かる」といい、中学から持たせているが、夜は禁止で、ギガ数も制限

◆「夜9時まで」

生徒も賛成

「スマホは午後九時まで」愛知県刈谷市では六年前から全小中学校でこんなルールを掲げ、子どもたちと保護者に呼び掛けている。無料通信アプリLINEでの悪口やうわさ話、夜間のやりとりなどを巡るトラブルが増えたことがきっかけ。学校や警察などでつくる児童生徒愛護会が提案した。

自分の部屋では使わないなどさまざま。最近が目立った問題は報告されていない。加藤校長が「意外だった」のが生徒たちの反応だ。反対は少なく、同中では毎年の調査でも八割が賛成。「危険性を感じているのでは」

ほかに、香川県では三月、十八歳未満の子どもの保護者に、ネットやゲーム利用のルールをつくり、守らせるよう求める条例ができた。背景にあるのは、過剰利用がもたらす悪影響。やめられ

が次々と現れ、加藤校長は「やめにくい」と危惧。スマホの契約者は多くが親のため、「親と子で納得できるルールづくりを」と促す。

愛護会委員長で、同市雁が音中の加藤祐介校長(左)によると、強制力はないが、家庭での自主ルールづくりにつながっている。ルールは午後九時以降は親がスマホを保管、

◆香川県は条例

依存を危惧

皆さんがインターネットを使う際に決めているルールは何ですか。意見を募集します。紙面で紹介したお子さんの中から抽選で図書券をプレゼント。〒460 8511 中日新聞(東京新聞)生活部「学ぶ」係＝ファクス052(222)5284、メールseikatu@chunichi.co.jpへ。QRコードから、ワークシート兼応募用紙もダウンロードできます。

意見送ってください

う相手だけとの世界に陥りがちで、子どもが本来会わないような人とながることも。特に深夜の利用は健全でないことが多い。今は小学、中学、高校の三人の子どもの親。「思春期にスマホで友達とつながりたい気持ちは分かる」といい、中学から持たせているが、夜は禁止で、ギガ数も制限

「世の中は人とのつながりで成り立っており、現実の世界では苦手な人とのコミュニケーションも必要」。ネットの良さと危険性を知り、付き合う力を自分でつけてほしいと願う。